

関東自由聯合會（綿引邦農夫、大塚貞三郎、
朝鮮労働組同盟關西聯合會（池建弘、金東源、金守
題）

京都無產團體協議會（谷口善太郎、井上敏行）
兵庫縣勞動組合會議（長尾保、板野勝次、大塚憲）
三宮縣無產團體協議會（太田俊夫、佐野史郎）
岡山無產團體協議會（平松和平）
九州無產團體協議會（吉川哲夫）

- ④ 傳聽者 約七十名
⑤ 主催 大阪労働組合會議（總同盟大阪聯合會ヲ除ク）
⑥ 司會者 阪本孝三郎（日本労働組合總聯合關西聯合）
⑦ 議長 阪本孝三郎（リ）
⑧ 副議長 足立金次（リ）

協議

司會者の開會の挨拶、協議會開催直の経過報告、出席者の指名笑呼、経過報告に対する質問、議長選舉を経て協議に入る。
先づ主催者たる大阪労働組合會議の意見として、「全國的の聯合を持つ團体・地方的聯合を持つ團体、及び地方協議會より各二名宛の代表者を挙げて小委員會を設置し協議上の便宜を圖りた」と提議したるに、日本労働總同盟の代表は「小委員會の設置は全部の組合の意見が反映され故先づ出席團體の意見を發表すべし」と反對し、評議會代表は激烈である論争を生じたが、官業労働代表より大阪労働組合會議の具体的意見を聞くべしとの意見で多數之れが賛成し、大阪労働組合會議はその意見引継めのた十分簡体態。

休憩後、大阪労働組合會議代表者より「大阪労働組合會議と一にて先づ太田議長協議會を組織したと思ふ」（以下略）之れに対する總同盟代表は準備協議會を組織するも不文では、應各團體の意見も發表の上決定すべき性質と懸念故、先づ各團體は自己の意見を發表すべしと強硬に実張。